



拜島中学校だより

令和8年1月9日
第10号
昭島市立拜島中学校

【拜中生の感動の秘密】

校長 乙幡 英剛



【大掃除の次の日】

年末に、拜中生の感動の秘密に迫ることが続けてあったので、紹介します。

(1) 先日、大掃除がありました。その際、自分の分担を一生懸命やったり、班の人達と協力して取り組んだりすることは、大切なことですが、それは当たり前とも言えます。

大掃除の翌日の朝の事です。ワックスがけのために教室の外に出しておいた机やイス等を教室の中に入れて、整頓したり、

その際に出たホコリを掃いたりしている人がいました。実は、大掃除が大変なのは、翌日の朝の整頓であることは、多くの皆さんが知っているのではないのでしょうか。早く登校した人が、カバンを置いて廊下の机を中に運んでいます。後から来た人が運ぶのを手伝ったり、担任の先生も教室に来たりして、手際よく整頓していき、あっという間に教室が整いました。みんな、自然に当たり前のように並べています。

(2) 別の日に、「小中連携事業」の一つとして、小学校の児童が拜島中学にやってくる「授業&部活動体験」がありました。小学校の先生方は皆さんが優しく6年生をリードする姿を見て「大人になったわねえ。」なんて言いながら、しみじみ感心していました。その後、体験を終えた小学生が並んで正門から出ていく時の事です。拜中生が並んで、手を振りながら小学生を見送っていました。これが実に爽やかなのです。実は、小学生が中学校生活を体験する事業は、どの学校にもある行事なのですが、このような「お見送り」は初めて見ました。

(3) 1年生で道徳の授業をした時の事です。授業の最後に列の後の人にワークシートを集めてもらった時に、集めたプリントの向きを揃え、上下をトントンとして、こちら側に向けて提出した人がいました。これは、何気ない、当たり前のことのように見えるかも知れませんが、こうしてもらおうと、後で枚数を確認したり、コメントを書いたりする時に、もの凄く助かるのです。

もし、登校した時、自分の机やイスが教室の中に入れてもらい、元通りになっていたら。ただでさえ緊張しているのに、校門を出る時、上級生が笑顔で手を振っていたら。教員が、プリントを受け取る時、向きがきれいに揃っていたら。予期しない出来事に、驚くと同時に、きっと嬉しく思い、感謝するのではないのでしょうか。

私はこれらからの事から、拜中生の感動の秘密が表面的（一時的）な頑張りではなく、「最後まで責任をもつことができる」「人への気配りができる」ということにあると気付きました。きっと皆さんはもちろん、ご家庭やこれまでの先生方が、そういうことを大切にしてきた結果でしょう。3学期、短い期間ですが、充実したものになるように、期待しています。（「始業式」1/8）



【あー、そういうことか！（体育科）】

【学校の様子】



【生徒会朝礼】



【救命救急講習】



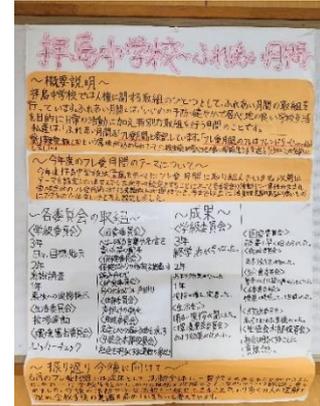
【オーケストラ鑑賞教室】



【市租税表彰】



【市人権パネル展】



【パネル展での拝島中生徒会の展示】

【生徒の活躍】

【拝島中学校人権標語】

- 校長先生賞 「差別なく 人の心と 生きていく」
 生活指導部賞 「その一言が 誰かの明日を 作ってる」
 中央委員会賞 「その個性 自分にはない たからもの」

【2月の予定】

- 2日（月）朝礼／都推薦発表
 6日（金）校外学習（2年）
 9日（月）避難訓練
 11日（日）建国記念の日
 12日（木）都美術展始（～19日）
 13日（金）働く人の話を聴く会（1年）
 20日（金）お弁当の日
 21日（土）都一次・分割前期学力調査
 23日（月）天皇誕生日
 24日（火）小中連携の日
 学年末考査
 （～25日）



【お願い】

学校の外周に、吸い殻や空き缶等が散見されます。

定期的に片付けていますが、なかなか追いつきません。

教育活動の妨げになる場合がありますので、片付けをよろしくお願いいたします。

